

新婦人しんぶん

新日本婦人の会目的

- ☆核戦争の危険から女性と子どもの生命をまもります
- ☆憲法改悪に反対、軍国主義復活を阻止します
- ☆生活の向上、女性の権利、子どものしあわせのために力をあわせます
- ☆日本の独立と民主主義、女性の解放を勝ちとります
- ☆世界の女性と手をつなぎ永遠の平和をうちたてます

今週の紙面

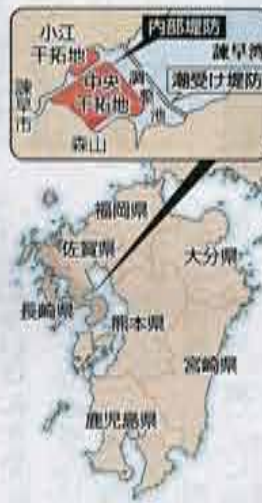
- 2面 女性ニュース/国会ス
- 3面 読者のページ/短歌
- 4~5面 介護保険制度-新婦人の要求/ジェンダー問題/ホットライン
- 6面 手づくりバスボム(写真)/母の歴史/手帳におやつ
- 7面 保育所持機児なくして! 東京/主張/乳幼児の発達



新日本婦人の会は国連に認証されたNGOです



夫婦が同じ思いだからがんばれる。松水さん、大鶴(おおが)さん夫妻



菅首相が去る断念。昨年12月15日、このニュースが日本中を駆け巡りました。国の巨大公共事業、諫早湾干拓工事の後、海の環境悪化と漁業被害に苦しむ漁民が堤防の開門などを求めていた裁判で、福岡高裁が排水門の常時開門を命じ、国は上告しないことを決めました。長崎県知事は諫早市、雲仙市の首長と連名で菅首相宛てに質問状まで提出し、開門に反対の態度をとりつづけています。しかし漁民たちは「宝の海再生への第一歩」と、開門した場合の被害を心配する農民にも心を寄せ、「農業も漁業も、自然も共存できる再生の道を探っています」。



死んだ魚が海岸がいっぱい(08年8月13日、小長井海岸)

一日も早い開門こそ 農業・漁業・ふるさと再生の道

長崎 諫早湾干拓



早期開門を、30隻の船で海上デモ。2009年9月

「もともと民主党政権のときに、政権をとったら排水門を開けますよ」と言っていたんですから、上野断念は当然とは思ってましたが、高裁で認められたことは大きい。うちはいまタイラギ漁が18年間休漁。早く開門せんと困ります」と、『よみがえれ!有明海』長崎・小長井・大浦漁業再生を求める裁判の原告団長、松水秀則さん。

「政府・農水省が『開門する』とだけ吹聴し、原告や弁護団との話し合いですでに結論が出ていく安心・安全な開門の方法をまったく明らかにしないことが、農民たちの不安を助長している。正しい情報が知らされず、開門に不安を持つ人もいますから、今大事なのは、国が農業も漁業も両立する開門の具体化を提案し、賛成・反対の双方の代表が参加する『開門協議会』(仮称)を急いでつくり、知恵を出しあうことです。『八ツ場ダム』の混迷と同じ流れにしてはなりません」

安心・安全な開門はできる

れば農地がダメになる」

「もともと民主党政権のときに、政権をとったら排水門を開けますよ」と言っていたんですから、上野断念は当然とは思ってましたが、高裁で認められたことは大きい。うちはいまタイラギ漁が18年間休漁。早く開門せんと困ります」と、『よみがえれ!有明海』長崎・小長井・大浦漁業再生を求める裁判の原告団長、松水秀則さん。

干拓がはじまって魚がとれなくなった!



「干拓事業で干潟の浄化機能が失われ、潮流の低下、赤潮・貧酸素水塊の増加などがおこり有明海全体に影響を与えている」

—1980年前後の漁業生産が日本一だった有明海も、干拓着工と堤防閉め切りで漁船漁業生産量が急速に悪化。農水省のノリ不作検討委員会は2001年、すでにこの問題を明らかにし開門調査の必要を政府に迫り、02年に短期調査を実施。27日間の開門でアサリやタイラギがよみがえったことが報告されている。

〈2面につづく〉

早期開門こそ農業・漁業再生の道 1面から

「タイラギは、こういうふうな砂の上に立って海底に埋まっている。それを海に潜ってカギで一本一本抜いていくんだけど、海底にびっしりついてますね。」漁の話になる。顔がほころぶ松永さん。高級タイラギ漁で漁師は潤い、般むきは農閑期の農家のほかみさんたちの仕事、地域は活気に満ちていました。

じつは、干拓事業の環境アセスメント(環境影響評価)が改ざんされていました。今年1月29日放送のNHKの番組で田北徹長崎大学名誉教授(当時)は、堤防を閉め切ると海面の酸素量が減り、堤防周辺に赤潮が発生して魚類に影響を与える、などとした教授らの報告が、農水省が発表した報告書には「変化の範囲はわずか」とされていたことを明らかにしました。

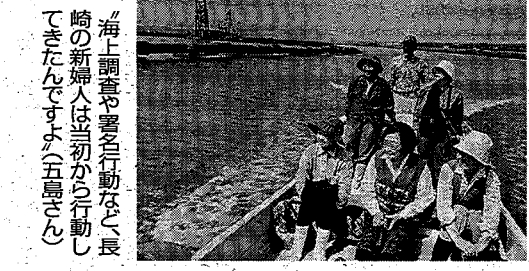
最後まで反対していた漁師が工事に同意したのは、諫早湾の干拓しても漁業に支障はない」との農水省の説明を受けたから。松永さんも「諫早市民の生命財産を守るためには少しぐらい犠牲を払ってほしい」と思っていた。しかしその後、どんどん海が汚れ、魚が獲れなくなっていました。16歳から40年、この海で漁師をつづけてきた松永さんは、「有明海が一望できる家から潮受け堤防が見えるのが嫌だ」と語ります。

「よみがえれ! 有明海訴訟」

1986年に決定された国営諫早干拓事業計画は、戦後まもなく、「食糧難脱却のため」と長崎県が大干拓構想を打ち上げて以来三転三転、ついに田中角栄元首相の「日本列島改造論」の助けを借りて始まったもの。長崎県だけで干拓地の8.5倍もの耕作放棄地がありながら農地確保と防災を目的に、92年から工事が本格化。諫早湾に全長7.5キロの堤防をつくり、農地と堤防の間に河川から流れる水を貯めて池をつくり、その水を農業用水として使う。また、その水位を調整して高潮・洪水などの防災に役立てるといふもの。しかし、リンやチッ素分を多量に含み、閉め切ったままの調整池の水は農業用水には役立たず、富栄養化した汚濁水が海に大量に流されることにより魚介類が激減した。

「このまま泣き寝入りして、良かすか?」1人の漁師からこう言われて大鋸幸弘さんたち大浦漁協(佐賀)青年部は、10年前、真っ先に立ち上がりました。まずやったのは、16隻の船で排水門の前まで行き、魚介類の供養に花を手向けたことでした。

「国に逆らってどうするか」と組合長や理事からも反対されたけど、あなたたちの世代はそれでいいかもしれないけど、われわれは今後この海で生きていかにゃあいいけん。後継者もつくらにゃあいいけん。そのためには海をとり戻



海上調査や署名行動なく長崎の新婦人は当初から行動してきたんです(五島さん)



諫早市内でブルーベリーの観光農園と梅園を営む横林さん夫妻

有言アオコが毎年大量に発生している調整池の水を農業用水に使うことは、消費者の健康にとっても重大問題です。干拓地の農業は、補助金も優遇され、3畝を1区画として借り上げられた大規模農業ですが、15法人・個人が農地リース料を滞納しています。農産物の価格は当初の想定40%とか30%にしかならず、後々まで被害が及ぶジャガイモのソウカ病がやすい土壌条件でもあり、苦しんでいるのが実際のところじゃないですか。調整池に海水を入れて、アオコがなくなって被害が一部でも回復すれば、いろんな生きものが再生して、観光や農業の展望もでてくると思います

—長崎県農民連の横林和憲さん・談

☆激励・支援先 新婦人長崎県本部〒850-0875 長崎市栄町6の3 / fax095・820・3084

「このまま泣き寝入りして、良かすか?」1人の漁師からこう言われて大鋸幸弘さんたち大浦漁協(佐賀)青年部は、10年前、真っ先に立ち上がりました。まずやったのは、16隻の船で排水門の前まで行き、魚介類の供養に花を手向けたことでした。

「国に逆らってどうするか」と組合長や理事からも反対されたけど、あなたたちの世代はそれでいいかもしれないけど、われわれは今後この海で生きていかにゃあいいけん。後継者もつくらにゃあいいけん。そのためには海をとり戻

「当初は、自分たちの生活を何とかせんとおもうていたのが、有明沿岸を訪ねて回り20数年の漁業関係者の自殺、財産を投げ打ってまで応援してくれている人のことを知って、自分たちだけの問題じゃないなと思つて。農業も漁業も自然も再生したい。韓国・スンチョン湾のような、世

松永さんたちは言います。「当初は、自分たちの生活を何とかせんとおもうていたのが、有明沿岸を訪ねて回り20数年の漁業関係者の自殺、財産を投げ打ってまで応援してくれている人のことを知って、自分たちだけの問題じゃないなと思つて。農業も漁業も自然も再生したい。韓国・スンチョン湾のような、世

界の人が訪れる自然の産卵場・保護地域にする、そういう夢があるんです」「開門すれば海がよくなることは02年の短期開門調査で実証済み。1日も早く安全を確認しながら少しずつ開門してほしい。」

新婦人県本部の大石久仁子事務局長も、「国は、2500億円を超えるムダづかいしながらいまも調整池の水の悪化防止のために毎年40億円かけている。こんなムダを一日も早くやめさせ、漁業者の切実な声に耳を傾けるべきです」と訴えます。

「このまま泣き寝入りして、良かすか?」1人の漁師からこう言われて大鋸幸弘さんたち大浦漁協(佐賀)青年部は、10年前、真っ先に立ち上がりました。まずやったのは、16隻の船で排水門の前まで行き、魚介類の供養に花を手向けたことでした。

「国に逆らってどうするか」と組合長や理事からも反対されたけど、あなたたちの世代はそれでいいかもしれないけど、われわれは今後この海で生きていかにゃあいいけん。後継者もつくらにゃあいいけん。そのためには海をとり戻

20033億円の税金を投じた土地の農業生産効果は農水省の計画で5年45億円(2%)。漁業者は一家離散、自殺者まで。農業、漁業の発展に努めるべき農水省がなぜ。工事を受注したゼネコンへの農水省幹部の天下りが33人、自民党国會議員、県連、金子長崎県知事(当時)への多額の献金があったことが、02年衆院予算委員会での小沢和秋議員(共産党)によって明らかにされている。

長崎県は、造成された農地7000畝を県が出資した農業振興公社に51億円で購入させ、入植希望者にリース。たった42の法人・個人のために莫大な税金を使い、しかもその一等地を押さえたのは長崎選出の谷川衆院議員(自民)の長男の会社。取締役は金子県知事の娘。その公金の無駄遣いを訴えた裁判には、新婦人の会員も原告となり、広く県民にその実態が知られることとなった。

国会 スポット

予算委員会始まる

1月28日、民主党は野党との合意のないまま、衆院予算委員会を開会。野党は国民新、社民党のみの出席のもとで、2011年度予算の趣旨説明を強行した。野党はこうした横暴に抗議、民主党も「ていねいな国会運営を行ないたい」と表明し、31日から予算委員会での質疑が始まった。

自民党は消費税増税法案の早期提出や年金支給年齢の引き上げを迫り、「バラマキやめよ」と子ども手当、公立高校無償化の廃止を求めた。自民の対決ポーズに対して首相は「与野党の議論が深化すればありがたい」と増税のために歩み寄る姿勢も。TPP参加と食料自給率向上は両立しないと日本共産党の指摘には答弁できず、アメリカ主導のTPPの危険性が明らかになった。

2日の国会行動には180人が参加、悪法を許さない共同のたたかいをいっそうひろげよう確認した。

大統領退陣要求強まる エジプト

30年近い長期政権で経済格差や高失業率、民主主義の抑圧がつづいているエジプトで、ムバラク大統領の退陣を求める動きが強まっている。抗議行動は首都カイロをはじめ、スエズ、アレクサンドリアなど全国にひろがり、犠牲者も100人を超えた。ムバラク大統領は閣僚を総辞職させ、2月1日夜には、9月の大統領選挙に立候補しないことを表明し、譲歩も見せているが、国民はあくまで大統領の退陣を要求している。

年金未納主婦 100万人超か

サラリーマンの夫が退職や失業で厚生年金の対象から外れた場合、専業主婦の妻は市町村に届け出て、国民年金保険料の支払いが必要になる。日本

女性 ニュース

2011.2.10

働くルール 空の安全壊す JALの解雇は許されません! -200人の女性がアピール発表



4日、「日本航空の不当解雇撤回を求める女性アピール」が、200人の賛同を得て、発表された。都内の記者会見には、3人の呼びかけ人が参加。(写真上)

「マスコミの報道などで、会社更生中だから仕方がないという雰囲気がつくられていることに危惧を感じる。今回の解雇は、労働法から見ても、整理解雇の4要件(必要性、回避努力、対象入選の合理性、手続きの妥当性)がまったく不十分。これを許してしまえば、

後々大変後悔する」(浅倉むつ子・早稲田大学教授)。「国際婦人年連絡会の女性団体が力を合わせ活動し、女性の問題で発言してきた者として、見過ごすわけにいかない」(江尻美穂子・国連NGO国内婦人委員会委員長)。「解雇の入選、客室乗務員は、53歳以上で切り捨てるといふのも、とんでもない。年齢差別の違法性は最高裁で勝利判決をかちとっている。働く女性の権利を踏みとじるもの」(坂本福子弁護士)と次つぎ発言。呼びかけ人の1人、湯川れい子さん(音楽評論家)もメッセージを寄せた。賛同者は、俳優、作家、評論家、研究者、弁護士、医師など半月余で各界の女性たちに急速に広がっている。